

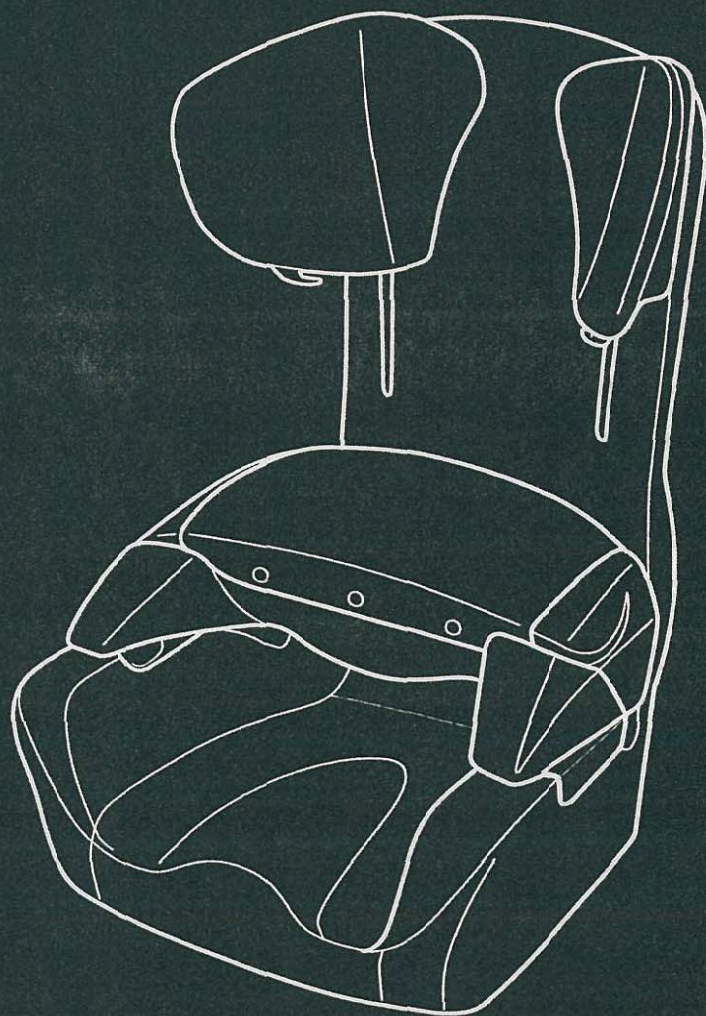
トヨタ純正

チャイルドシート

『G-Child ISO』

取扱書

(IFX - 21、UFX - 11用)



運輸省型式指定合格



このたびは、トヨタ純正チャイルドシート『G-Child ISO』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、説明に従ってお使いください。お読みになった後も、この取扱書は必ずチャイルドシートと一緒に携帯していただき、必要に応じてお読みください。

五輪P.E-1

チャイルドシート(ISO-FIXタイプ)として使用する場合 ＜お子さまの体重が9～18kg未満＞

お使いいただく前に 2

- 警告表示について
- ご使用上の注意
- 製品について
- ご使用の条件

製品の構成および各部の名称 4

自動車への取り付け手順 6

- ベースシートおよびサポートレッグの取り付け方法
- チャイルドシートの取り付け方法

取り外し手順 9

- チャイルドシートの取り外し方法
- サポートレッグの取り外し方法
- ベースシートの取り外し方法

お子さまの乗せ方 10

- チャイルドシートへのお子さまの乗せ方
- 緊急時には

各部の操作方法 12

- フィットティングバーの調節
- ベルトアジャスターの調節
- サイドウイングの調節
- インパクトシールドの取り外し方法

お手入れ 13

- カバー類の取り外し方法
- カバー類の取り付け方法
- 専用ベルトの取り付け方法
- お手入れ方法

アフターサービスについて 15

補修部品について 16



警告表示について

この取扱書には安全にご使用して頂くため、特にお守り頂きたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 注意

指示に従わないと死亡または重傷に至るもの。

指示に従わないと死亡または重傷に至る可能性があるもの。

指示に従わないと軽傷または財物を損傷させる可能性があるもの。

ご使用上の注意

- この取扱書に記載された以外の方法で絶対に取り付けしないでください。正しく取り付けないと衝突したときなどに、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- チャイルドシートを取り付けるときは、ISOバー周辺及びベースシート周辺に、異物が無いこと、シートベルト等のかみ込みが無いこと、ベースシート下に異物が無いことを確認した上でお使いください。異物やシートベルトなどをかみ込むと、チャイルドシートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 必ず、保護者同乗のもとで使用してください。
- お子さまをチャイルドシートに座らせたまま自動車から離れないでください。陽ざしの下では自動車内が高温になり、死亡につながるおそれがあり危険です。
- お子さまが、チャイルドシートを使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの（先端のとがった固いもの）等危険な物を絶対に持たせないで下さい。わずかな衝撃時にも大変危険です。
- 自動車内に急ブレーキなどで前に飛び出すような重いものや、尖ったものを置かないください。
- チャイルドシート、ベースシート、サポートレッグの取り付けを走行中に行わないでください。運転を誤るなどして思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- チャイルドシートを固いもの（自動車のドアやシートレール）の間に挟んだり損傷させたりしないでください。
- お子さまが乗っていない時でも自動車内にチャイルドシートを乗せている場合は、ベースシートに必ず固定し、ベースシートもまたISOバーに必ず固定してください。急ブレーキや衝突等の衝撃でチャイルドシート、ベースシートが移動し、ケガをするおそれがあり危険です。
- 自動車衝突事故等により、強い衝撃を受けたチャイルドシート、ベースシート、サポートレッグは絶対に使用しないでください。衝撃により機能が低下しているおそれがあり危険です。
- 取扱書に記載された以上の分解、構成部品を取外した状態での使用、指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 拘束性能に影響を与えるおそれがあるため、柔軟材料（例えば、専用カバー類、ベルト類、発泡材料等）を取り外したり、または専用品以外に取り換えて使用しないで下さい。
- ベースシートのフロントロックやスロット、チャイルドシートのフックや底面をきれいにしておいて下さい。異物があると、チャイルドシートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 長時間屋外に放置しないでください。機能を損ねる原因となります。
- 食べ物、飲物をチャイルドシートやベースシート、サポートレッグにこぼさないように注意してください。故障の原因となります。
- 強い日光に当たると金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをする可能性があります。使用しない場合は毛布などをかけておき、ご使用の際に、金属部や樹脂部が熱くなっていないことを確認してから、お子さまを座らせてください。
- チャイルドシートを使う前は必ずこの取扱書をよくお読みになり、常にチャイルドシートといっしょに携帯してください。
- お子さまを乗せる用途以外には、お使いにならないでください。

製品について

このチャイルドシートは、ベースシートと、このベースシートに固定するチャイルドシートとサポートレッグの3部分から構成されます。

●ベースシートについて

このベースシートは、チャイルドシート固定専用バー（ISO 13216-1に適合したチャイルドシート固定専用アンカ 以下ISOバーと略す。）が装備された座席専用です。この場合、チャイルドシートをシートベルトで固定する必要はありません。ISOバーとは、自動車側シートのクッションとシートバックのすき間の部分に組み込まれている直径6mmのバーのことです。

●チャイルドシートについて

このチャイルドシートは、自動車事故などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられたチャイルドシートです。ISOバー専用のベースシートと結合し、自動車側シートに固定してお使いいただくことにより、自動車事故などの際に、お子さまを傷害から守ったり傷害を軽減する自動車用チャイルドシートです。しかし、チャイルドシートは自動車事故等において、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。

●サポートレッグについて

このサポートレッグは、自動車事故などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられております。ISOバー専用のベースシートに結合して、必ずお使い下さい。

ご使用の条件



※安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

使用タイプ	チャイルドシート
体重	9～18kg未満
身長	75～105cm以下
参考年齢	9ヶ月～4歳頃まで
使用方法	 ●サポートレッグ付きのベースシートと共に本体を自動車に取り付けてインパクトシールドと専用ベルトで拘束して使用。 ●チャイルドシートを搭載する自動車のシートが前後にスライドするときは、指定位置がある場合はその状態でお使い下さい。無い場合は、最後位置でお使い下さい。
取り付けできない座席	●ISOバーの装備されていない座席。

※取り付けできる車種については、トヨタお客様相談センターまたは販売店にお問い合わせ下さい。

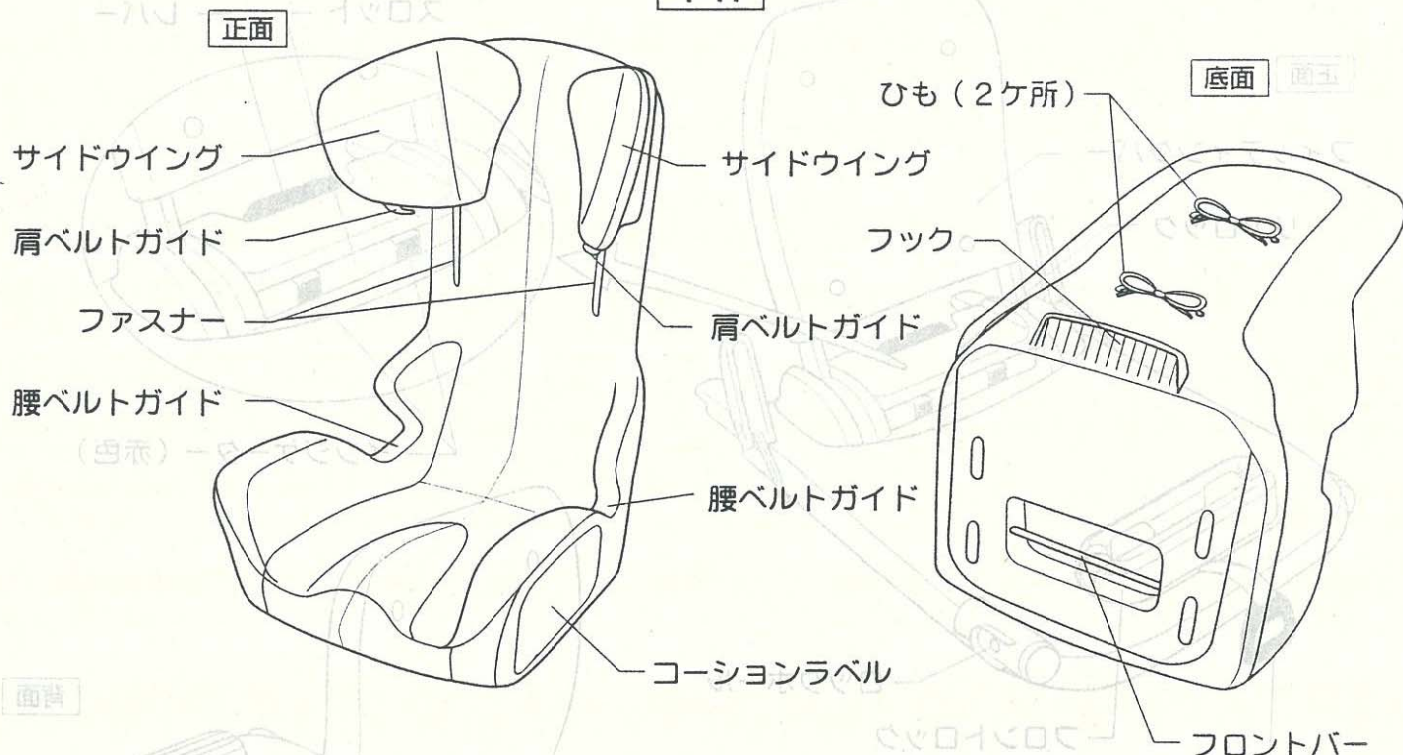
※15kgから25kg未満のお子さまには、ジュニアシートとしてご使用下さい。（使用方法はP.17を参照して下さい。）

※9kg未満のお子さまには、ベビーシート（別売）を購入していただければ、同じベースシートにてご使用できます。

このチャイルドシート用にISOFIXの認可を受けた自動車にのみ使用可能です。

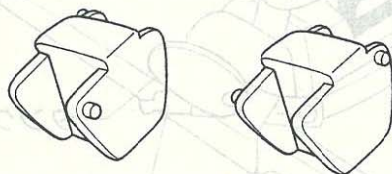
チャイルドシート (品番：73700-12010)

本体



チャイルドシートアダプター

4才頃までのチャイルドシートに使用

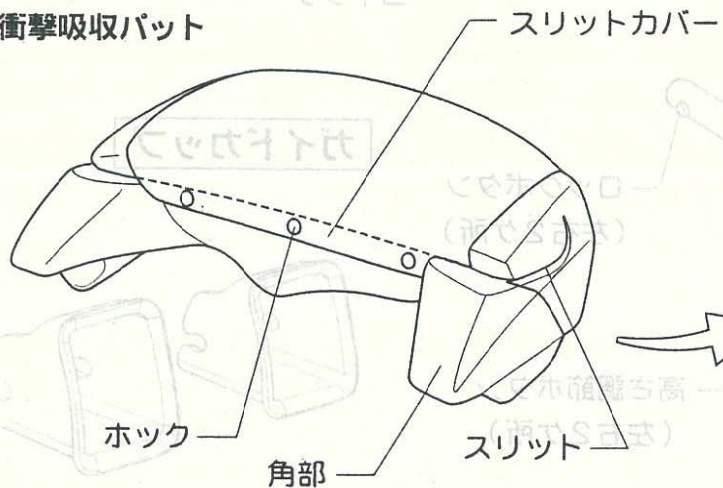


取扱書



インパクトシールド

衝撃吸収パット



専用ベルト

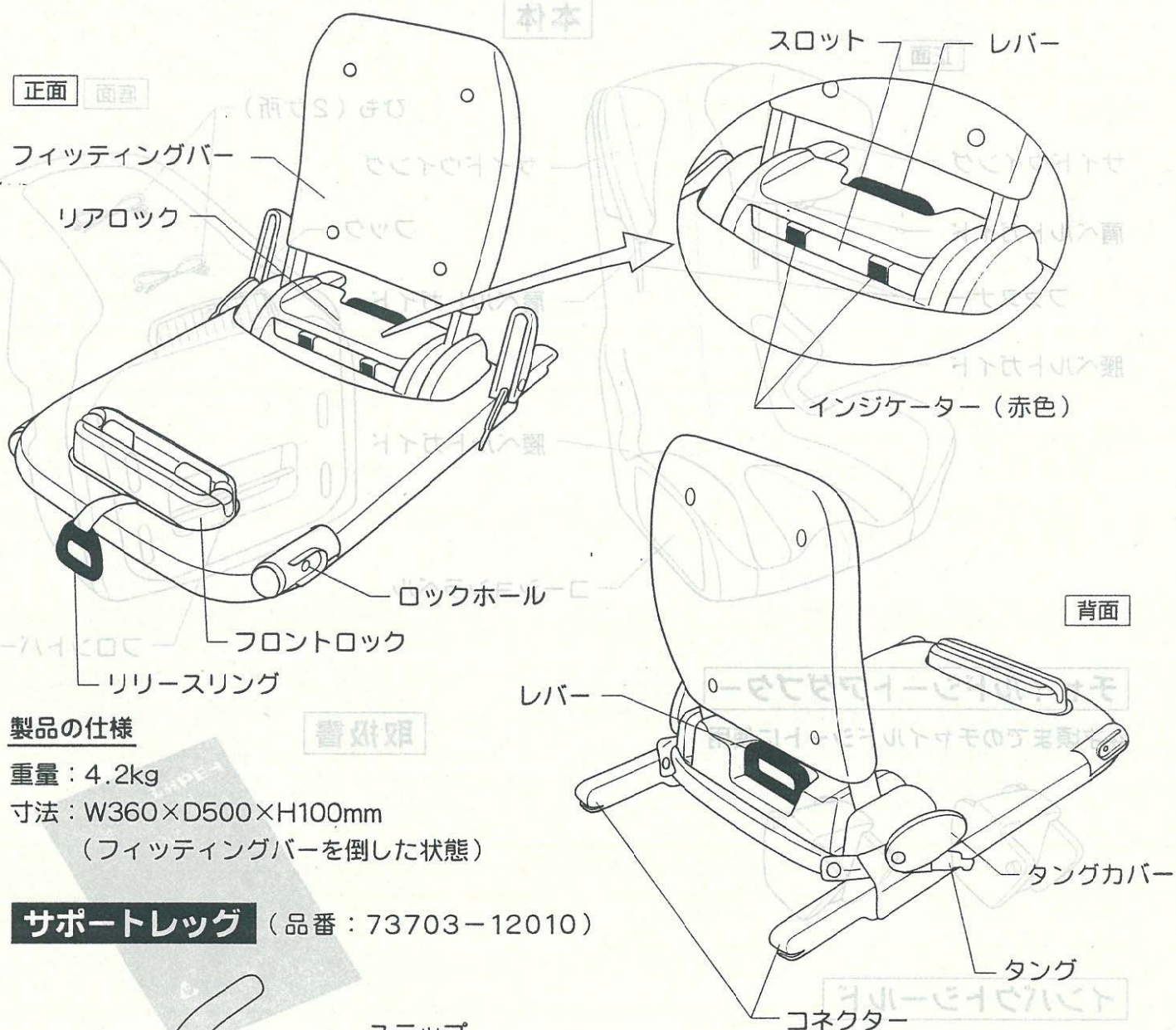


製品の仕様

重量：5.2kg (本体+インパクトシールド+専用シートベルト+チャイルドシートアダプター)

寸法：W452×D558×H630mm

ベースシート (品番: 73730-12010)



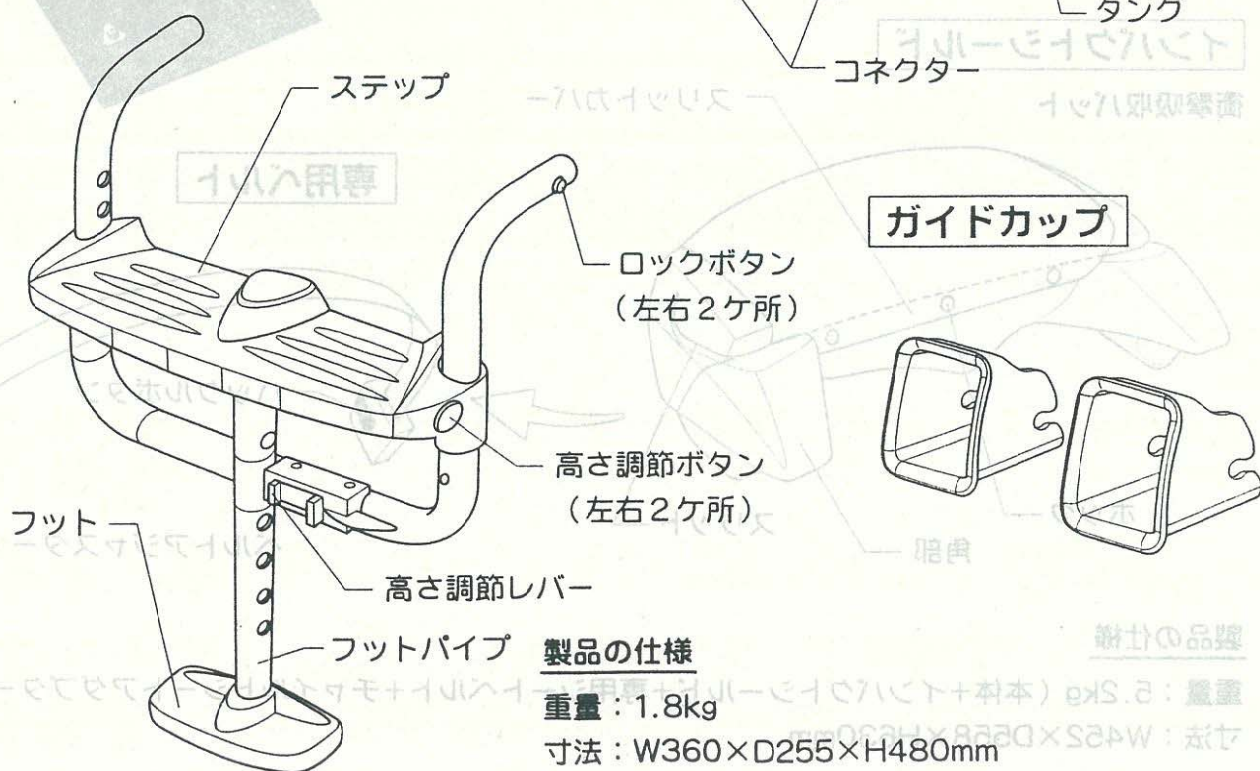
製品の仕様

重量: 4.2kg

寸法: W360×D500×H100mm

(フィッティングバーを倒した状態)

サポートレッグ (品番: 73703-12010)



製品の仕様

重量: 1.8kg

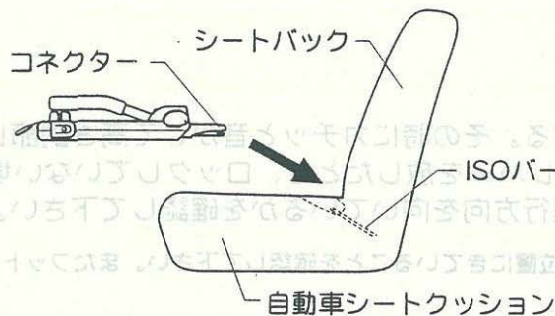
寸法: W360×D255×H480mm

ベースシートおよびサポートレッグの取り付け方法

※ベースシートを取り付ける前にインジケーター（P.5参照）が2つとも赤になっていることを確認して下さい。どちらか一方もしくは両方のインジケーターが赤くない場合はレバー（P.5参照）を引き、2箇所とも赤くなるようにして下さい。

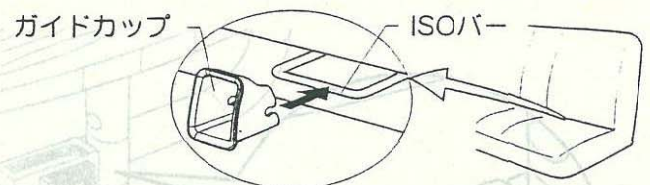
必ずベースシートにサポートレッグを装着してご使用下さい。サポートレッグを装着しないと、本来の事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

- 1 自動車側のシートクッション部分を少し広げ、ISOバーの位置を確認し、コネクターをISOバーに差し込む。インジケーターが、2つとも赤が見えないことを確認して下さい。赤が見えるときは、ベースシートの奥にあるレバーを引き上げ、ロックを解除し再びベースシートをISOバーに固定して下さい。



取り付けにくいときは

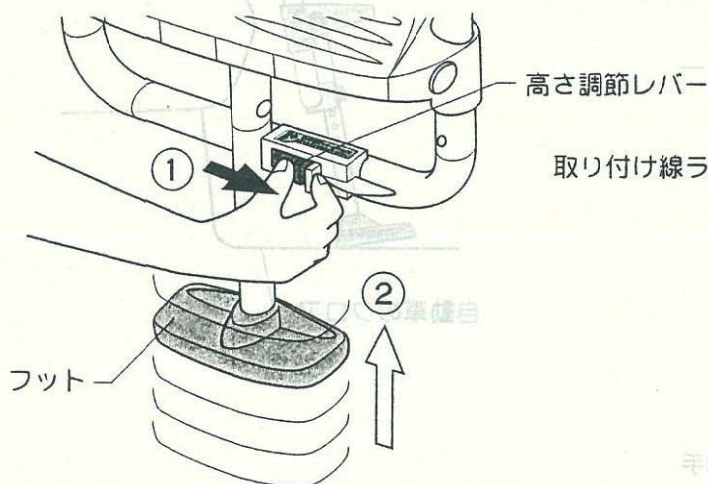
- 1 自動車側のシートクッションとシートバックの間にあるISOバーを確認し、そのISOバーにガイドカップを差し込む。



ベースシート取り付け後は、2つのインジケーターの赤が見えなくなっていることを確認して下さい。赤が見えるとベースシートが十分に固定されていないため、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意 ベースシートを取り付けるさいに、自動車のシートベルトを傷付けないように注意して下さい。

- 2 高さ調節レバーを矢印の方に引き（①）、フットを一番上まで上げる（②）。



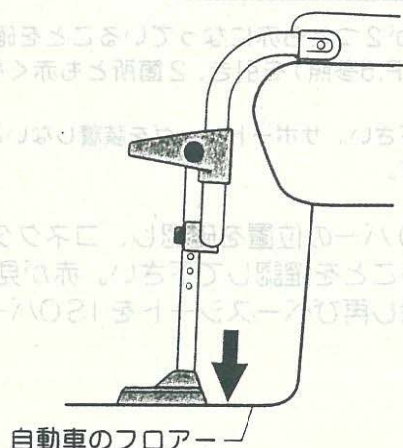
- 3 サポートレッグの左右の差し込み部を、ベースの接合部に取り付け線の位置でカチッと音がするまで差し込む。



この時ロックボタンがロックホールに確実にハマっていて、前後に動かしても抜けないことを確認して下さい。ロックされていないと重大な傷害を受ける恐れがあり危険です。



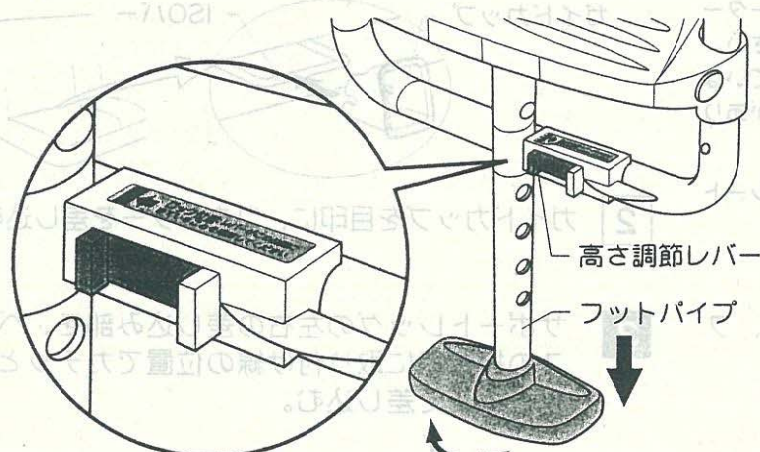
- 4** 高さ調節レバーを矢印の方に引き（**2**①）、フット底面が自動車のフロアにぴったり付くように高さを調節する（下図）。フットを図のように必ず自動車の進行方向に向けて下さい。



フットの底面を自動車のフロアに必ず密着させて下さい。その間に異物、フロアマットのしわがあると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

- 5** 高さが決まったら高さ調節レバーを離しロックする。その時にカチッと音がして高さ調節レバーが矢印にきている事を確認してください。高さ調節レバーを放したとき、ロックしていない場合、フットをロックする位置まで伸ばすか、フットが進行方向を向いているかを確認して下さい。

ロック後はカチッと音がして高さ調節レバーが矢印の位置にきていることを確認して下さい。またフットパイプを上下させて動かないことを確認して下さい。



アドバイス 以上の取り付け方法によって、手のひらがスムーズに入る程、ベースシートと自動車のシートクッションとの間にすき間ができた場合、またはチャイルドシート本体がベースシートに取り付かない場合は、以下の手順で取り付け直して下さい。

1 → 2 → 3 → 6 → 4 → 5

- 6** フィッティングバーを自動車側シートのシートバックに強く押しあてる。



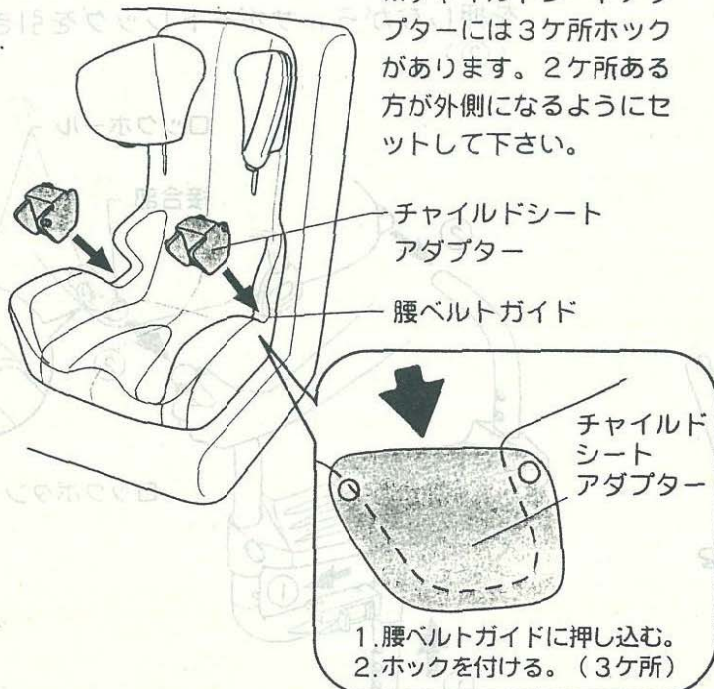
ベースシート、サポートレッグを取付けた後は手で前後左右にゆらして確実に取付けられていることを確認してください。固定されていないと重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

自動車のシートがスライドしたり、リクライニングしたりする自動車の場合は、自動車の取扱書でスライド、リクライニングの指定位置があるか確認し、その状態でお使いください。また、ベースシートの固定後は自動車のシートの調節は行わないでください。

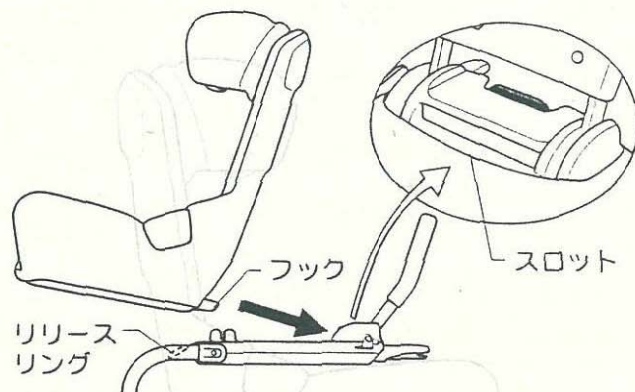
チャイルドシートの取り付け方法

- 1** チャイルドシートアダプターをチャイルドシート本体の腰ベルトガイドにはめる。

※チャイルドシートアダプターには3ヶ所ホックがあります。2ヶ所ある方が外側になるようにセットして下さい。



- 2** ベースシートのスロットにチャイルドシートのフックを差し込む。



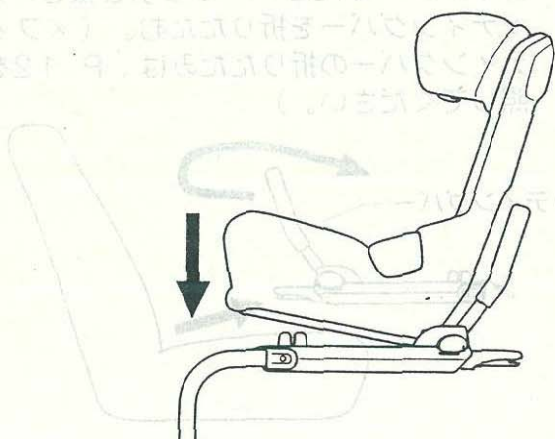
フックがスロットを乗り越えないように注意してください。

ベースシートのフロントロックやスロット、チャイルドシートのフックや底面をきれいにしておいて下さい。異物があるとチャイルドシートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。（※各部の名称はP. 4～5を参照して下さい。）



注意 リリースリングをはさみ込まない様、リリースリングが前側にあることを確認してください。

- 3** チャイルドシートの前端部を、カチッと音がするまで押し下げる。

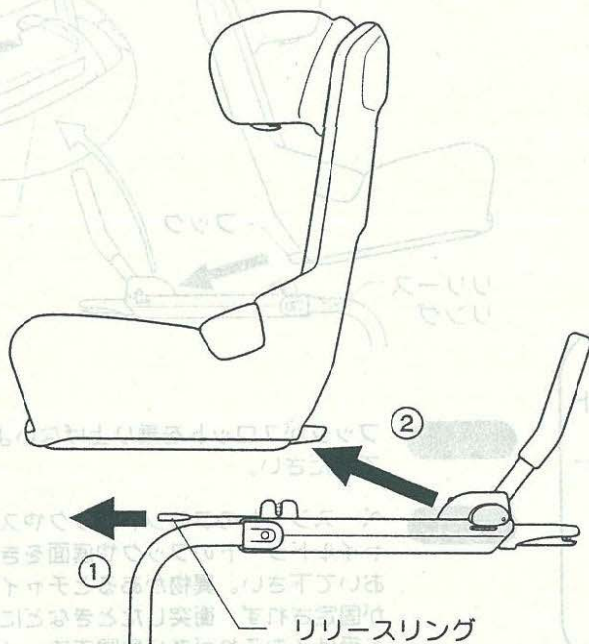


※自動車のシート背もたれ上部と、チャイルドシート上部が接触し、チャイルドシートが固定できない場合、P.7「ベースシートおよびサポートレッグの取り付け方法」のアドバイス **アドバイス** に従ってベースシート及びサポートレッグを取り付け直して下さい。

チャイルドシートを手で前後左右にゆらして、確実にロックされていることを確認してください。

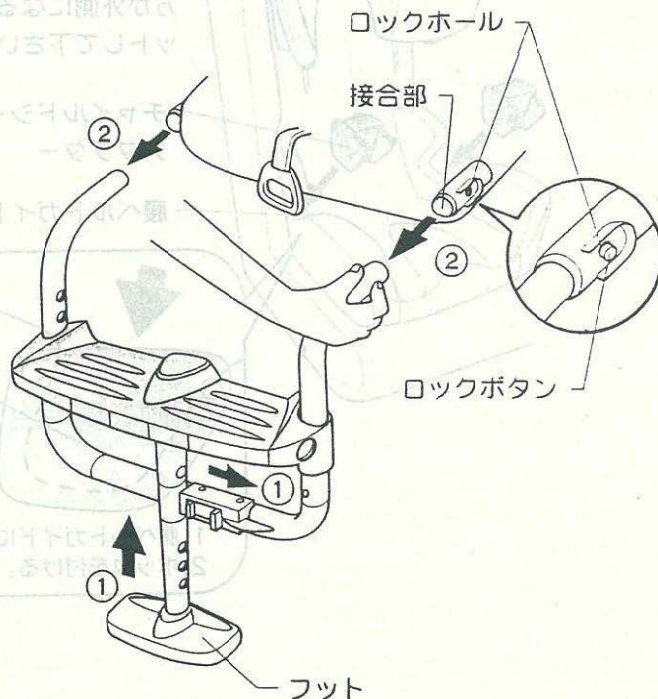
チャイルドシートの取り外し方法

リリースリングを引きながら①チャイルドシートを取り外す②。



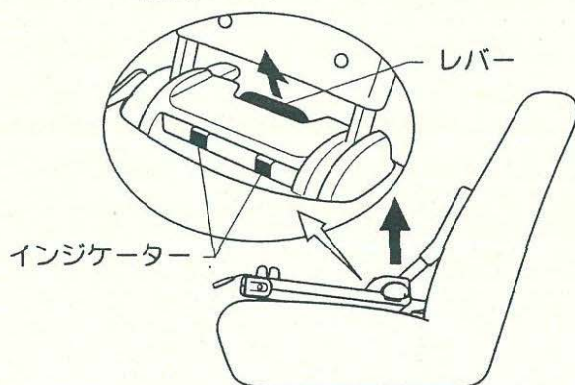
サポートレッグの取り外し方法

フットの高さ調整レバーを矢印の方に引きながらフットが床から離れるくらいまであげる①。左右のロックホールのロックボタンを押しながら、サポートレッグを引き抜く②。

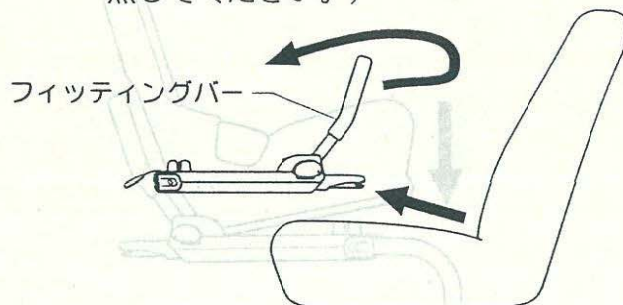


ベースシートの取り外し方法

1 ベースシート奥にあるレバーを引き上げ、ロックを解除する。



2 コネクターをISOバーから引き抜き、フィッティングバーを折りたたむ。(※フィッティングバーの折りたたみは、P.12を参照してください。)



△注意 インジケーターの赤が見えていないときは、ロックが解除されていません。レバーをしっかりと引き上げてください。

チャイルドシートへのお子さまの乗せ方（9～18kg未満）

インパクトシールドは必ずお使い下さい。ご使用されない場合、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

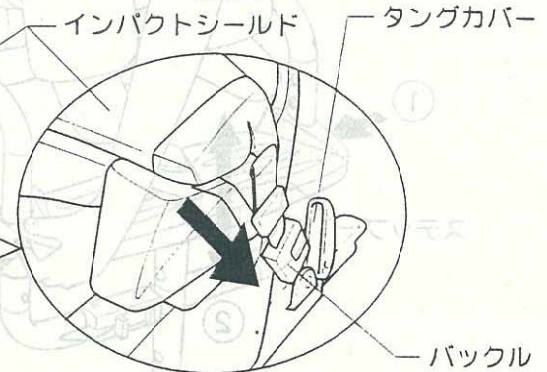
- 1** お子さまを深く腰掛けた状態に座らせる。



- 2** インパクトシールドを角部が前側にくるようにしてお子さまの腹部にあてる。



- 3** 左右のタンクカバーを外し左右のバックルをカチッと音がするまでベースシートの両側のタンクに差し込む。



お子さまをチャイルドシートに座らせたまま自動車から離れないで下さい。

お子さまがチャイルドシート使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの（先端のとがった固いもの）等危険な物を絶対に持たせないで下さい。わずかな衝突時にも大変危険です。

専用ベルトはインパクトシールドのスリットに入れインパクトシールドから抜けられない様にホックをつけてください。（P.14「インパクトシールド」参照）

自動車内に、急ブレーキなどで前に飛び出すような堅いものや尖ったものを置かないで下さい。万一のときにお子さまにぶつかりケガの原因となります。

バックルはカチッという音がするまで差し込み、左右とも確実にロックされていることを、確認してください。

ベルトはねじれの無いようにしてください。

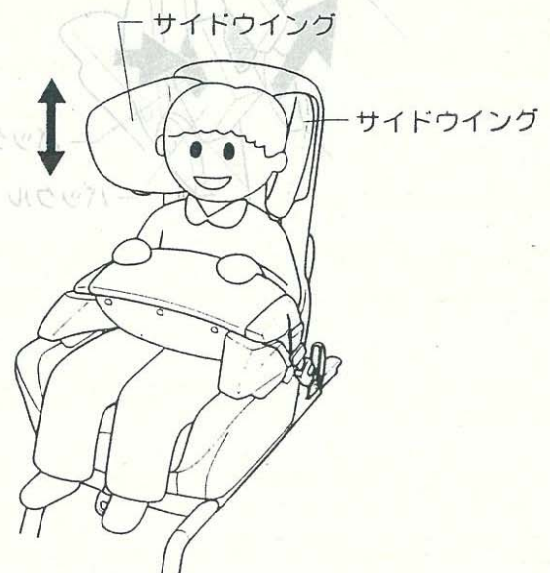
△注意 タングを使用していないときは、必ずタンクにタンクカバーをしてください。

- 4** インパクトシールドがお子さまの体に密着するように、ベルトアジャスターでベルトの張りを調節する。（※専用ベルトの調節は、P.12を参照してください。）



お子さまのお腹とインパクトシールドの間にはすき間がない様に調整して下さい。すき間があると、チャイルドシートの効果が十分発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

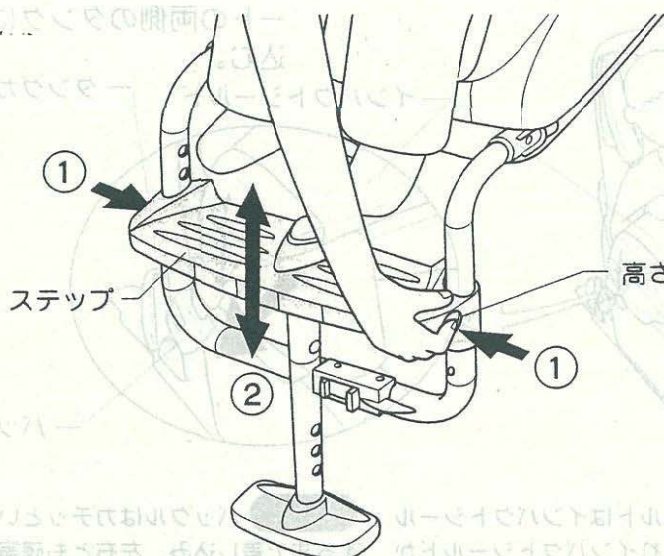
- 5** ①サイドウィングの下ファスナーを下げる。
②サイドウィングを、お子さまの肩に触れない程度まで下げ、頭の両側になるように調節する。
※左右のサイドウィングの高さをそろえて下さい。
③ファスナーを上げる。



(前ページ18～9)でセットしたお子さまのハイチェア

- 6** お子さまが、チャイルドシートの乗り降りに使うステップの高さ調節をする。ステップの左右にある高さ調節ボタンを押しながら(①)ステップを上下させて、高さを合わせる。(②)

- 7** ステップの高さが決まったら、左右の高さ調節ボタンを離しロックする。ステップを上下させて、動かないことを確認して下さい。



注意

ロックした時にカチッという音と共に左右の高さ調節ボタンが上記のように出ていることを確認して下さい。確実にロックされていないと、傷害を受けたり、サポートレッグを壊す恐れがあります。

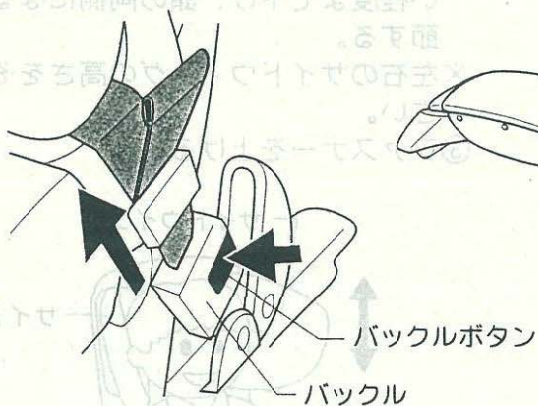
緊急時には

衝突事故等の緊急時はあわてず次の順序ですみやかにお子さまを救出して下さい。

- 1** バックルのバックルボタンを指で押し、両側もしくは片側のタングを外す。

- 2** インパクトシールドを外す。

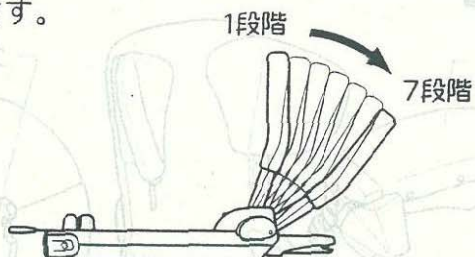
- 3** お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



※バックルボタンを押してもバックルが外れないときは、専用ベルトを切断するなどしてインパクトシールドを外して下さい。

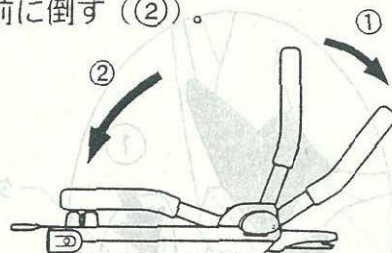
フィッティングバーの調節

フィッティングバーは、7段階に調節できます。



△注意 1～6段階までは手前に戻らない構造になっていますので、無理に力を加えないでください。

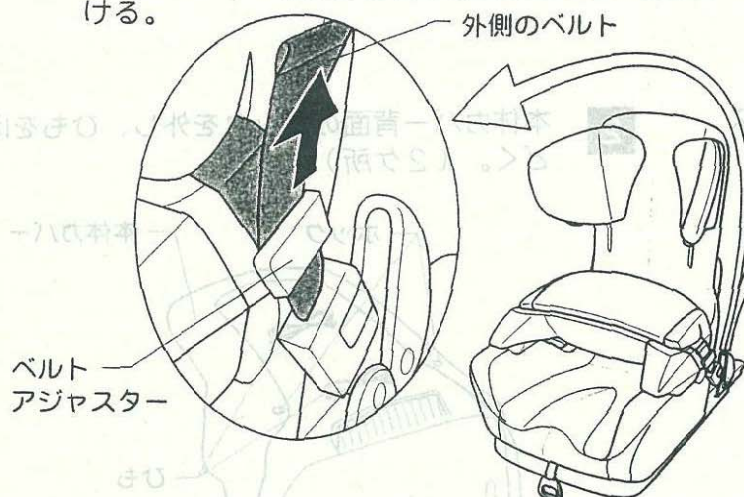
戻すときは、いったんISOバーから取り外し、いっぱい押し込んでから①、手前に倒す②。



ベルトアジャスターの調節

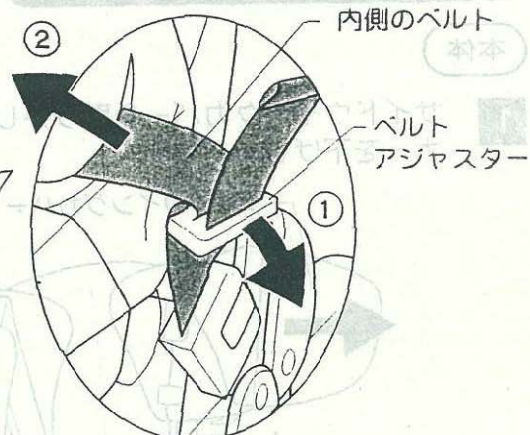
ベルトを締めつけるとき

ベルトアジャスターから出ている外側のベルトを引き、インパクトシールドを締めつける。



ベルトをゆるめるとき

ベルトアジャスターの金具を返しながら①、内側のベルトをゆるめる②。

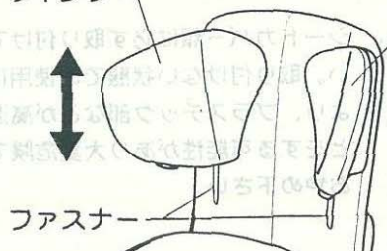


サイドウイングの調節

高さ調節

- ①ファスナーを一番下まで下げ、全開にする。
- ②サイドウイングを手で持ち、お子さまの肩に触れない程度の高さで頭の両側になるように調節する。
- ※左右のサイドウイングの高さをそろえて下さい。
- ③ファスナーを上げる。

サイドウイング



角度調節

お子さまが眠ったときなどには、角度を調節することにより、枕としても使うことができます。

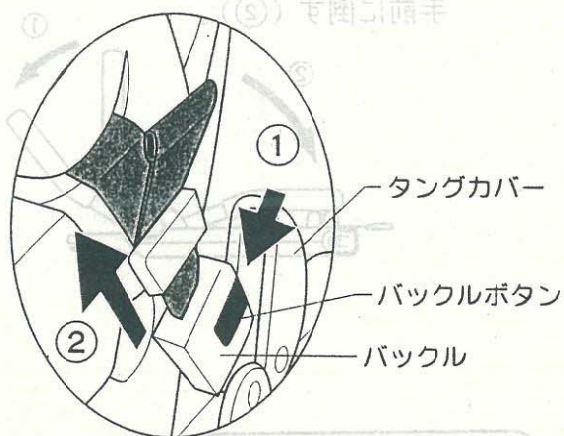
サイドウイング

サイドウイング

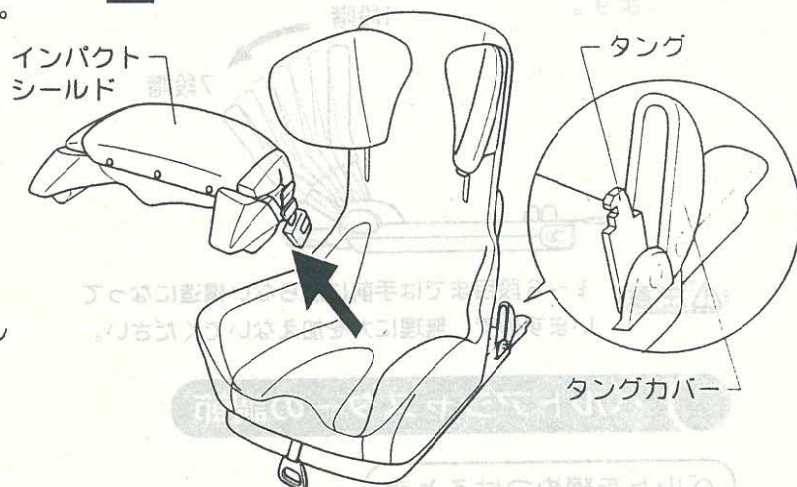


インパクトシールドの取り外し方法

- 1** 左右のバックルのバックルボタンを押して
(①)、タングからバックルを外す(②)。



- 2** インパクトシールドを外す。

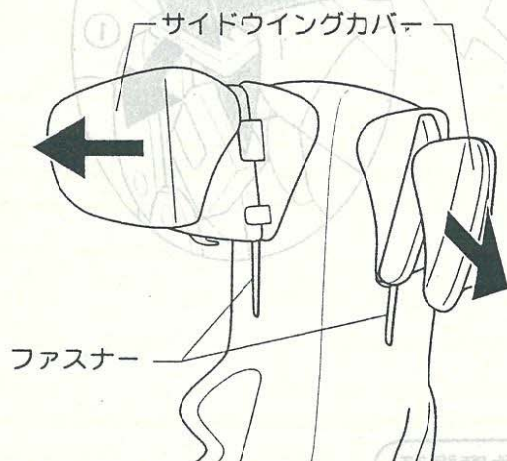


△注意 タングを使用していないときは、必ずタングにタングカバーをしてください。

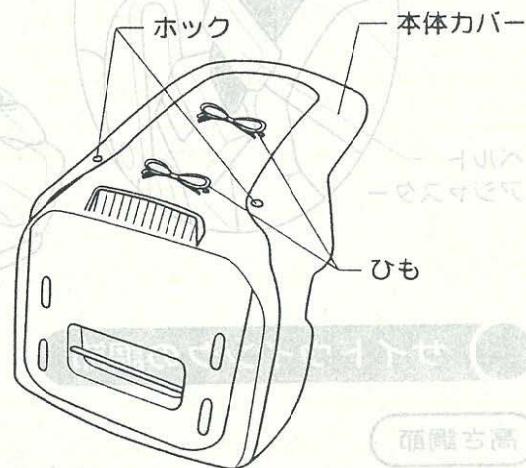
カバー類の取り外し方法 ※カバー交換や洗濯の際に取り外します。

本体

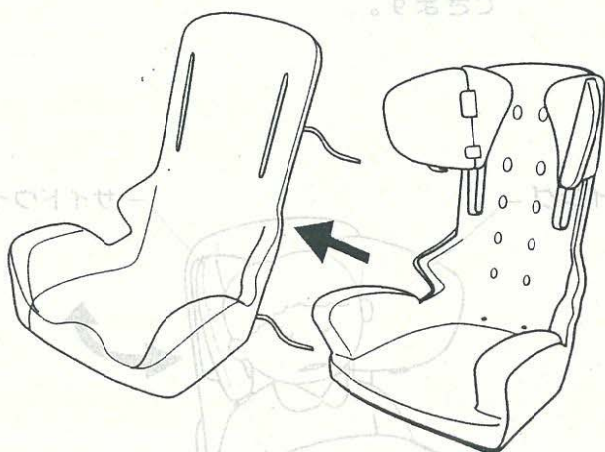
- 1** サイドウイングカバーを取り外し、ファスナーを下げる。



- 2** 本体カバー背面のホックを外し、ひもをほどく。(2ヶ所)



- 3** 本体カバーを底面側から外し、サイドウイングをくぐらせながら取り外す。

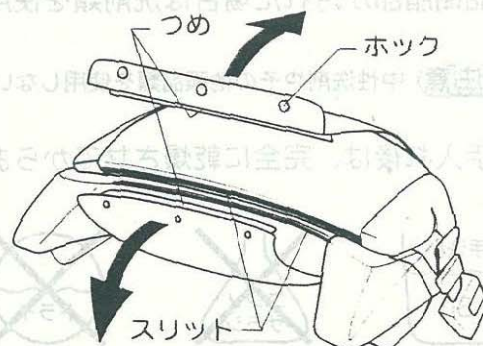
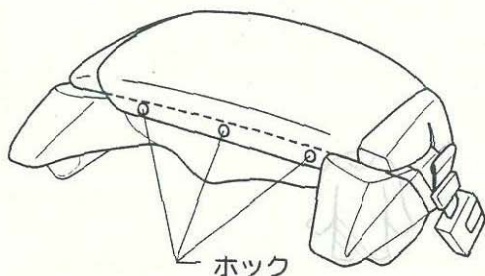


拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料(例えば、専用力カバー類、ベルト類、発泡材料等)を取り外したり、または専用品以外に取り換えて使用しないで下さい。

△注意 シートカバー類は必ず取り付けて使用して下さい。取り付けない状態での使用は、強い日光により、プラスチック部などが高温になり、やけどをする可能性があり大変危険ですので絶対におやめ下さい。

インパクトシールド

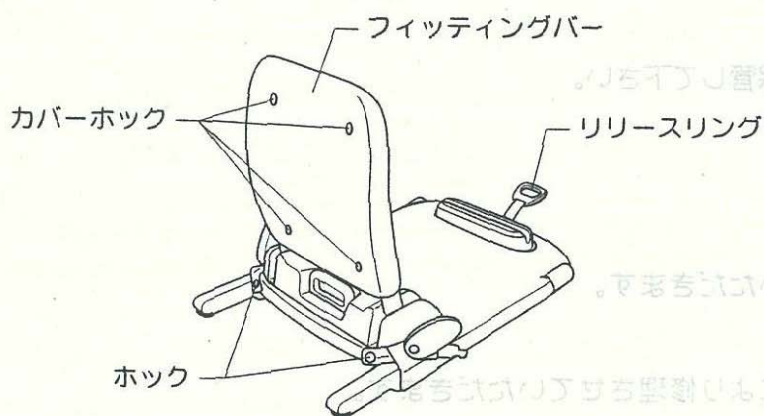
- 1 カバー前部にあるホックを外す。
- 2 カバーの裏にあるプラスチックのつめをインパクトシールドのスリットから抜き、カバーを取り外す。



△注意 カバーを外すときは、専用ベルトがインパクトシールドから外れないように注意してください。
※カバーを外すと、専用ベルトが外れます。

ベースシート

- 1 ①ベースシートからサポートレッグを外す。
②ベースシート後方のホック、フィッティングバーのカバーホックを外す。
- 2 上カバーは、フィッティングバーから、上方向に取り外す。下カバーはタングをくぐらせながら前方向に取り外す。



△注意 下カバーを取り付けるときは、必ずリリースリングをカバー前側の穴から出してください。

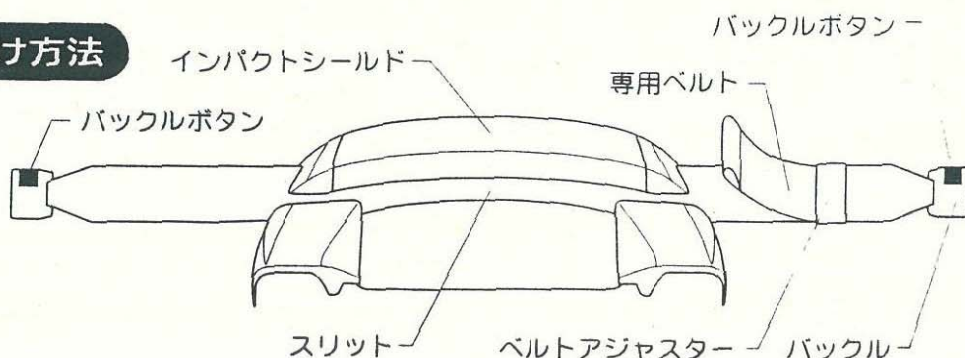
カバー類の取り付け方法

各取り外し方法の逆の手順で行います。

△注意 ベースシートの下カバーを取り付けるときは、必ずリリースリングを下カバー前側の穴から出して取り付けてください。

専用ベルトの取り付け方法

ベルトアジャスターが左側に、両端のバックルの赤いバックルボタンが上になるようにしながら、ベルトがねじれないようにスリットに差し込む。



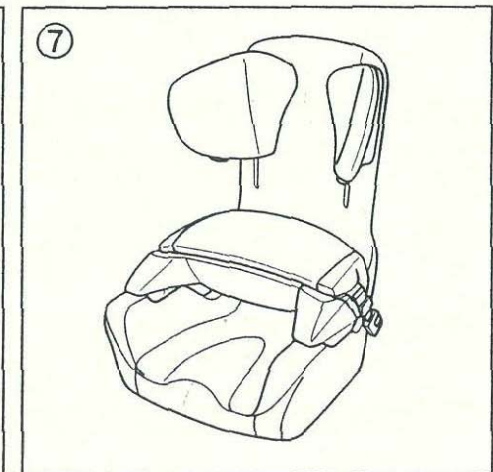
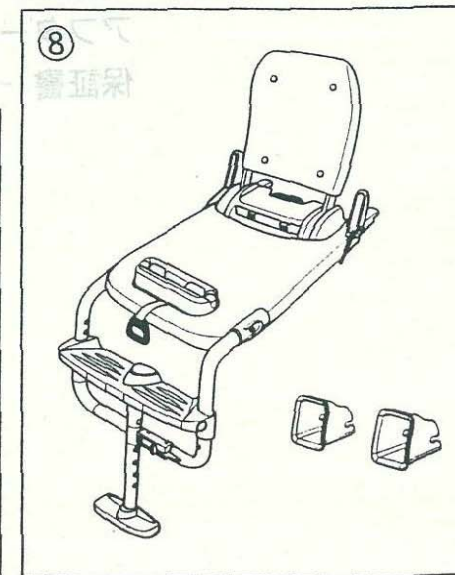
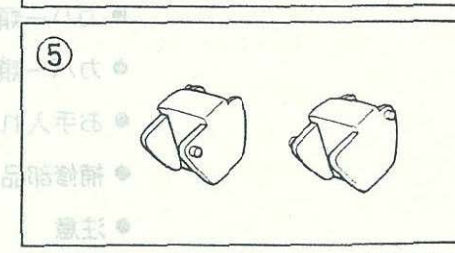
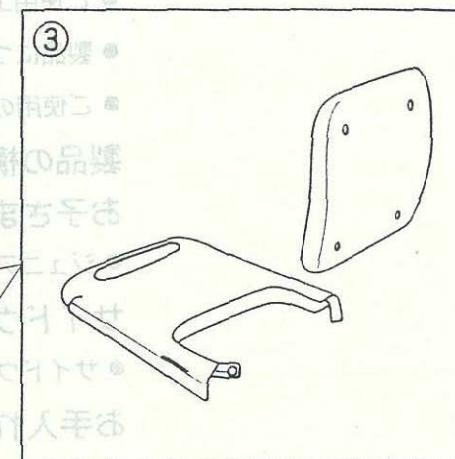
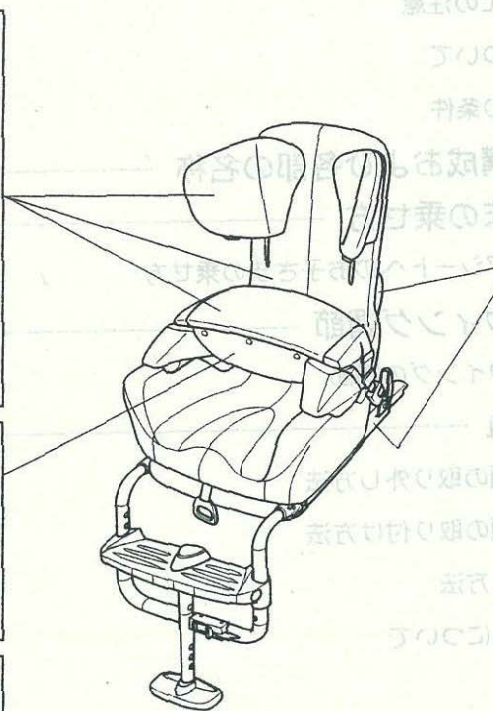
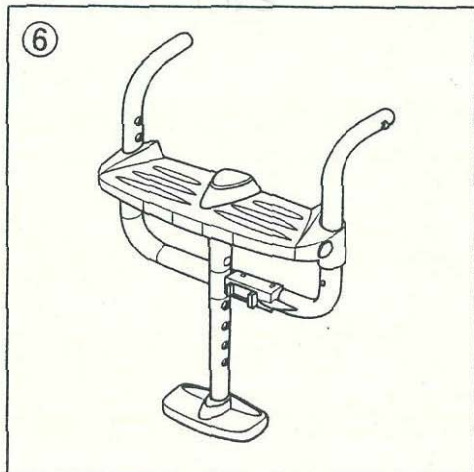
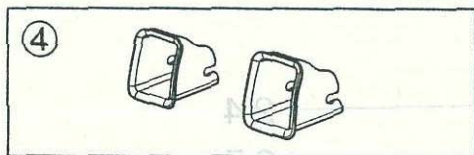
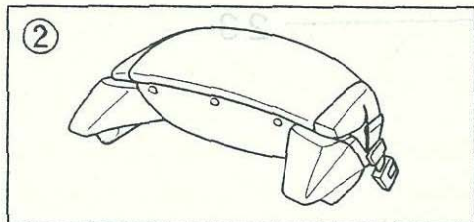
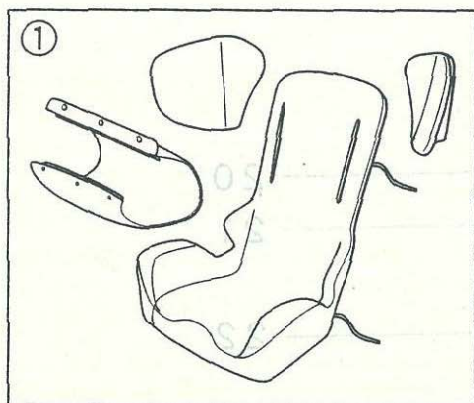
-

Diagram illustrating the seat adjustment mechanism. The seat back is shown in a reclined position. Labels indicate the following components:

- 座面 (Seat Cushion)
- 座背 (Seat Back)
- 座背調整機構 (Seat Back Adjustment Mechanism)
- 座背調整レバー (Seat Back Adjustment Lever)
- 座背調整ボタン (Seat Back Adjustment Button)
- 座背調整ダイヤル (Seat Back Adjustment Dial)
- 座背調整スイッチ (Seat Back Adjustment Switch)
- 座背調整ダイヤル (Seat Back Adjustment Dial)
- 座背調整スイッチ (Seat Back Adjustment Switch)
- 座背調整ダイヤル (Seat Back Adjustment Dial)
- 座背調整スイッチ (Seat Back Adjustment Switch)

補修部品について

番号	品 名	品 番	備 考
①	チャイルドシートカバーセット	73731-12010	本体カバー×1、インパクトシールドカバー×1、サイドウィングカバー（左右）×1
②	インパクトシールドセット	73716-12010	インパクトシールド×1、インパクトシールドカバー×1、専用ベルト×1
③	ベースシートカバーセット	73733-12010	カバー上×1、カバー下×1
④	ガイドカップセット（2ヶセット）	73735-52010	
⑤	チャイルドシートアダプター（2ヶ）	73735-12010	
⑥	サポートレッグ	73703-12010	
⑦	シート Ass'y	73700-12010	
⑧	ベース Ass'y	73730-12010	ベースシート×1、サポートレッグ×1、ガイドカップセット×1



ジュニアシートとして使用する場合 ＜お子さまの体重が15～25kg未満＞

目次

お使いいただく前に

18

●警告表示について

●ご使用上の注意

●製品について

●ご使用の条件

製品の構成および各部の名称

20

お子さまの乗せ方

21

●ジュニアシートへのお子さまの乗せ方

サイドウィング調節

22

●サイドウィングの調節

お手入れ

23

●カバー類の取り外し方法

●カバー類の取り付け方法

●お手入れ方法

●補修部品について

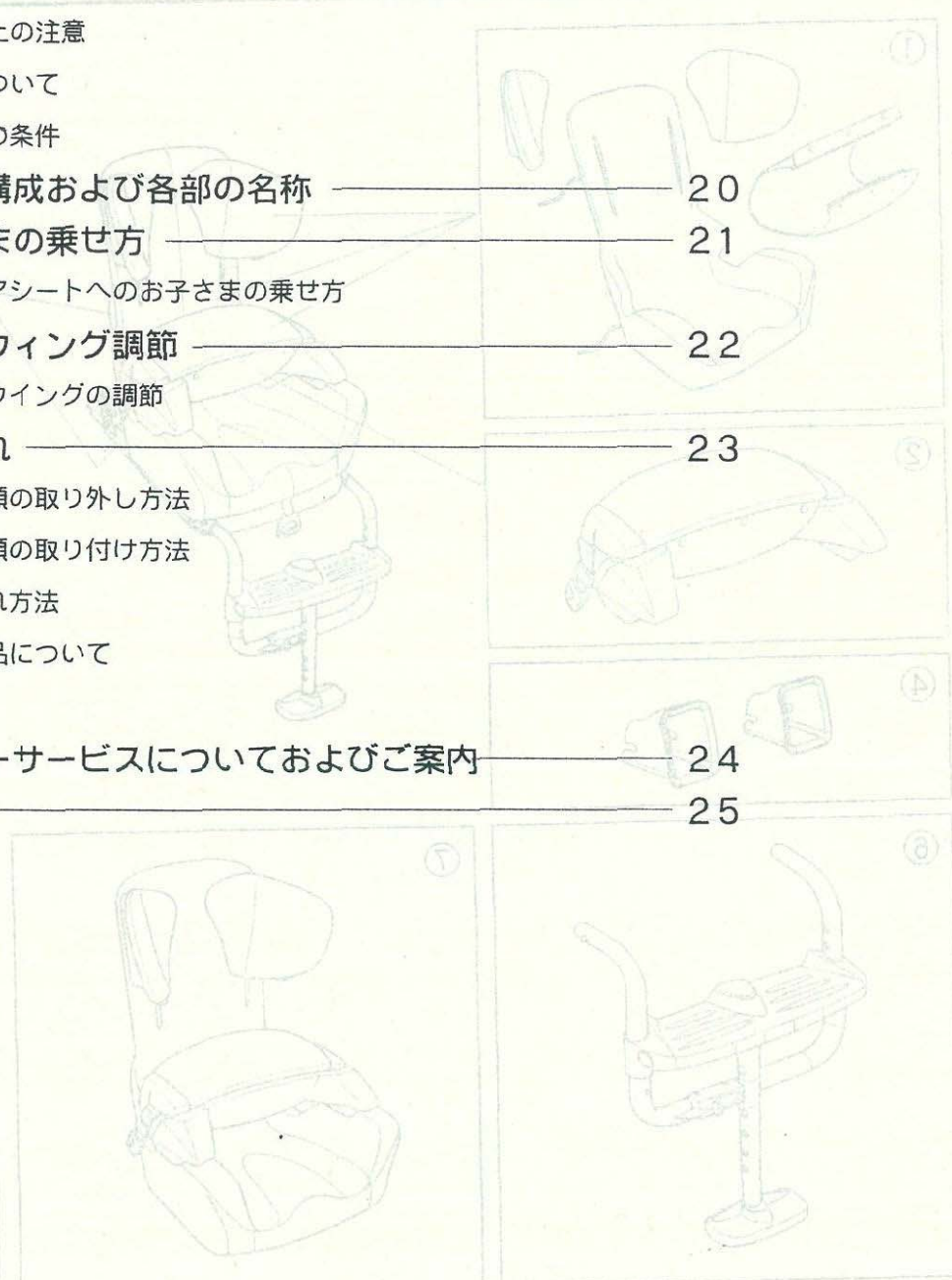
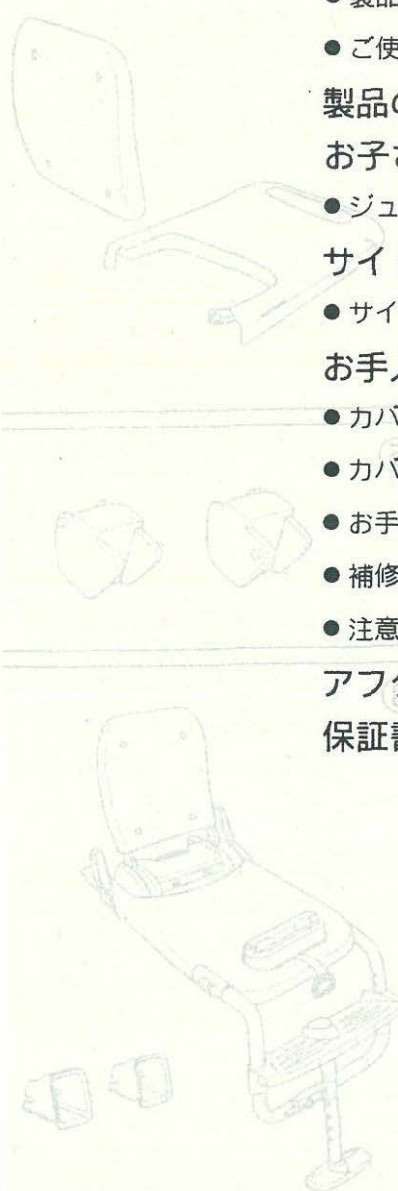
●注意

アフターサービスについておよびご案内

24

保証書

25



警告表示について

この取扱書には安全にご使用して頂くため、特にお守り頂きたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 注意

指示に従わないと死亡または重傷に至るもの。

指示に従わないと死亡または重傷に至る可能性があるもの。

指示に従わないと軽傷または財物を損傷させる可能性があるもの。

ご使用上の注意

- この取扱書に記載された以外の方法で絶対に取り付けしないでください。正しく取り付けないと衝突したときなどに、ジュニアシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- やむをえず助手席などSRSエアバッグが装備されている座席に取付ける場合にはシートの前後位置調整を一番後ろにして取付けてください。SRSエアバッグに近いとふくらんだ時に強い衝撃が加わり生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ジュニアシートを取り付けるときは、ジュニアシートを取付ける周辺に、異物が無いこと、ジュニアシート下に異物が無いことを確認した上でお使いください。異物などがあると、ジュニアシートが不安定となり、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 必ず、保護者同乗のもとで使用してください。
- お子さまをジュニアシートに座らせたまま自動車から離れないでください。陽ざしの下では自動車が高温になり、死亡につながるおそれがあり危険です。
- 自動車内に急ブレーキなどで前に飛び出すような重いものや、尖ったものを置かないでください。
- お子さまが、ジュニアシートを使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの（先端のとがった固いもの）等危険な物を絶対に持たせないでください。わずかな衝撃時にも大変危険です。
- ジュニアシートの取り付けを走行中に行わないでください。運転を誤るなどして思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- お子様に乗っていない時でもジュニアシートを乗せている場合は、自動車側シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキや衝突等の衝撃でジュニアシートが移動し、ケガをするおそれがあり危険です。
- ジュニアシートを固いもの（自動車のドアやシートレール）の間に挟んだり損傷させたりしないでください。
- 自動車衝突事故等により、強い衝撃を受けたジュニアシートは絶対に使用しないでください。衝撃により機能が低下しているおそれがあり危険です。
- 取扱書に記載された以上の分解、構成部品を取外した状態での使用、指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料（例えば、専用カバー類、ベルト類、発泡材料等）を取り外したり、または専用品以外に取り換えて使用しないで下さい。

⚠ 注意

- 長時間屋外に放置しないでください。機能を損ねる原因となります。
- 食べ物、飲物をジュニアシートにこぼさないように注意してください。故障の原因となります。
- 強い日光に当たると金属部や樹脂部が熱くなり、やけどをする可能性があります。使用しない場合は毛布などをかけておき、ご使用の際に、金属部や樹脂部が熱くなっていないことを確認してから、お子さまを座らせてください。
- ジュニアシートを使う前は必ずこの取扱書をよくお読みになり、常にジュニアシートといっしょに携帯してください。
- お子さまを乗せる用途以外には、お使いにならないでください。

製品について

●ジュニアシートについて

このジュニアシートは、自動車事故などの際に乗員を傷害から守ったり、傷害を軽減するシートベルトをお子さまが使用するために、座席位置を高くする補助シートです。

しかし、自動車事故などにおいて必ずしもお子さまを無傷で守ることが出来るわけではありません。

ご使用の条件

※安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

使用タイプ	ジュニアシート
体重	15～25kg未満
身長	100～115cm以下
参考年令	4～6歳頃まで
使用方法	※チャイルドシートアダプター、インパクトシールド不要 ●自動車のシートに置き、自動車側3点式シートベルトを装着して使用。 ●ジュニアシートを搭載する自動車のシートが前後にスライドする場合は、スライド位置を最後位置にしてご使用ください。
取り付けできない座席	●シートベルトの付いていない座席。 ●進行方向に対して横向き、後ろ向きの座席。
取り付けできるシートベルトの種類	●2点式／3点式／巻取装置無／巻取装置付き座席ベルトを装備する自動車のみに使用できます。

ジュニアシート

(国産品に2S-01)式の子供用車椅子の背板に装着して使用します。

この製品は、子供用車椅子の背板に装着して使用します。背板の中央部に、この製品を装着するためのフックが設けられています。フックに、この製品のフックを引っ掛けて、製品を背板に固定します。

この製品は、子供用車椅子の背板に装着して使用します。背板の中央部に、この製品を装着するためのフックが設けられています。フックに、この製品のフックを引っ掛けて、製品を背板に固定します。

本体

この製品は、子供用車椅子の背板に装着して使用します。背板の中央部に、この製品を装着するためのフックが設けられています。フックに、この製品のフックを引っ掛けて、製品を背板に固定します。

この製品は、子供用車椅子の背板に装着して使用します。背板の中央部に、この製品を装着するためのフックが設けられています。フックに、この製品のフックを引っ掛けて、製品を背板に固定します。

正面

サイドウイング

肩ベルトガイド

ファスナー

腰ベルトガイド

サイドウイング

肩ベルトガイド

腰ベルトガイド

底面

フック

ひも

フロントバー

製品の仕様

重量：3.2 kg (本体)

寸法：W457×D540×H640mm

取扱書



ジュニアシートへのお子さまの乗せ方（15～25kg未満）

ジュニアシートとしてお使いの場合は、インパクトシールドとチャイルドシートアダプターは使用しません。なくさずに保管してください。

指定された取り付け方以外の取り付け方は絶対にしないで下さい。誤った使用方法では、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できません。

ジュニアシートを使用中は、自動車の座席の調節装置を調節しないで下さい。自動車のシートベルトのずれなどが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

なるべく安全性の高い後部座席でご使用下さい。前部座席には、事故時に後部座席より大きな衝撃が加わる可能性が高いといわれています。

必ず前向きでお使いください。

- 1** 3点式シートベルトの付いた自動車のシートの奥に、ジュニアシート本体をぴったり付くように置く。

自動車シート



- 2** お子さまを深く腰掛けた状態に座らせる。



- 3** シートベルト（3点式シートベルト）を大人が使用するのと同じようにして使用する。この時に自動車のシートベルトを、肩ベルトガイド、腰ベルトガイドにたるみがないように通しタングをカチッと音がするまでバックルに差し込む。

※自動車のシートベルトの使用方法については、自動車のシートベルトの取扱説明書をお読みください。

- 4** ①サイドウイングの下ファスナーを下げて下さい。

- ②サイドウイングの肩ベルトガイドの位置はお子さまの肩に触れない程度の高さで、頭の両側になるように調節する。

※サイドウイングの左右の高さは、必ず揃えてください。

- ③ファスナーを上げて下さい

腰ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。ジュニアシートの効果が十分に発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

シートベルトはねじれのないようにして下さい。事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

自動車のシートベルトがALR/ELR付シートベルトの場合、チャイルドシート固定機能は作動させないでください。

バックルに固定したときカチッというロック音を確認し、確実にロックしたことを確認して下さい。タングが抜けると、衝突や急ブレーキ時などに、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

ジュニアシートを固いもの（自動車のドアやシートのレールなど）の間にはさんだりして損傷させないようにして下さい。ジュニアシートが損傷すると事故時のダメージを軽減する機能が低下する恐れがあります。



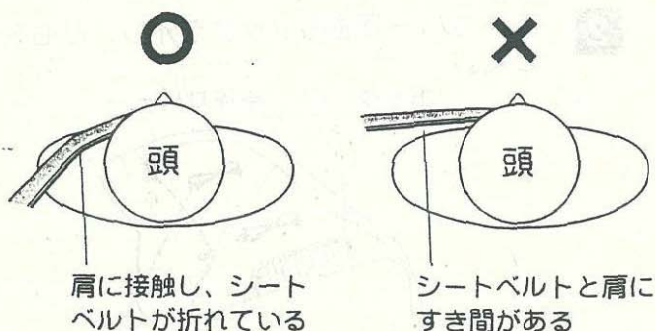
お子さまをジュニアシートに座らせたまま自動車から離れないで下さい。

お子さまがジュニアシートを使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの（先端のとがった固いもの）等危険な物を絶対に持たせないで下さい。わずかな衝撃時にも大変危険です。

お子さまがジュニアシートを使用中は、お子さまが自動車のシートベルトのバックルに触れないように注意して下さい。バックルに触れるとバックルからタングが外れ、衝突や急ブレーキ時などに、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

自動車内に、急ブレーキなどで前に飛び出すような重いものや尖ったものを置かないで下さい。万一のときにお子さまにぶつかりケガの原因となります。

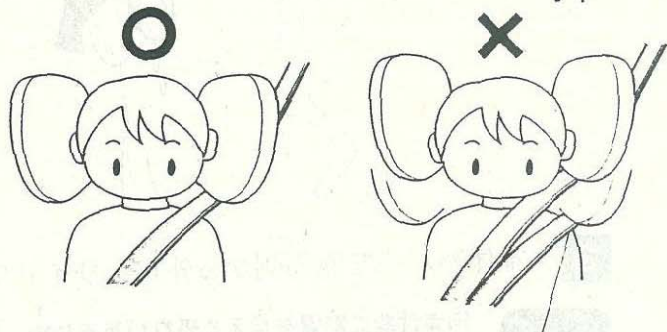
- 5** 前部座席でジュニアシート本体を使用するときは、お子さまの肩に肩ベルトがぴったりと接触する範囲で、できる限り座席を後方の位置に調整して下さい。



肩ベルトとお子さまの肩にすき間ができないようにして下さい。すき間があると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

- 6** 自動車のシートベルトがお子さまの首に触れたり、肩から外れている場合は、以下の調整を行って下さい。

1. 自動車のアジャスタブル・ベルトアンカー装備車はアンカーの高さを調整する。
2. サイドウィングを上下に調整する。
3. 自動車のシートを前後にスライドさせ位置を調整する。



肩の角にシートベルトがかかっているものもダメ

調節を行っても自動車のシートベルトがお子さまの首に触れる場合、またシートベルトが肩から外れたり、はなれたりする場合は（その座席で）使用しないで下さい。万一のとき、ジュニアシートが十分な効果を発揮しない恐れがあります。

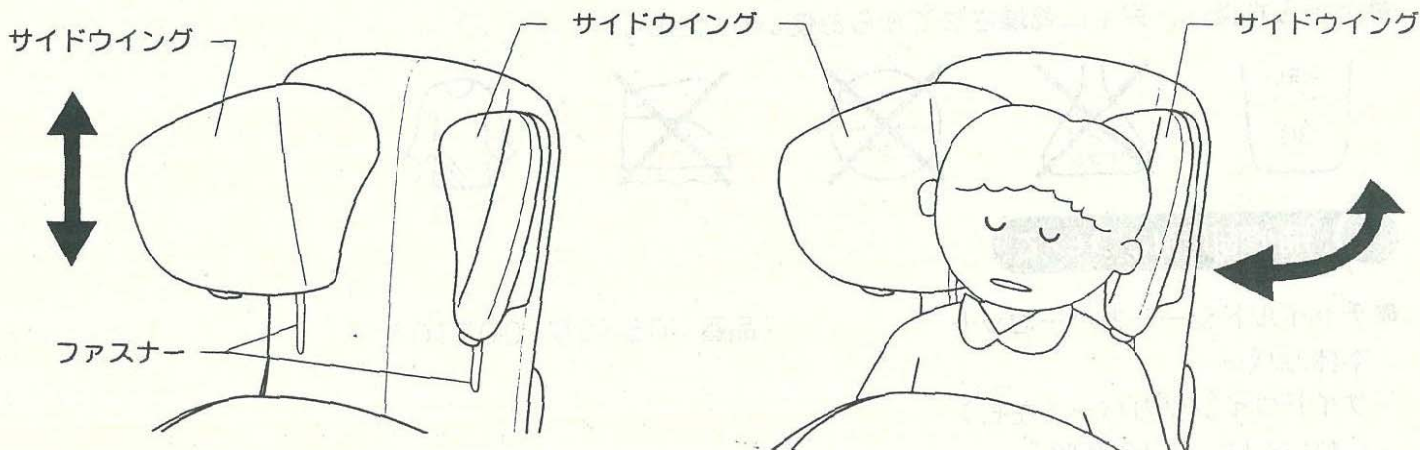
サイドウィングの調節

高さ調節

- ①ファスナーを一番下まで下げ、全開にする。
- ②サイドウィングを手で持ち、お子さまの肩に触れない程度の高さで頭の両側になるように調節する。
- ※左右のサイドウィングの高さをそろえて下さい。
- ③ファスナーを上げる。

角度調節

- お子さまが眠ったときなどには、角度を調節することにより、枕としても使うことができます。

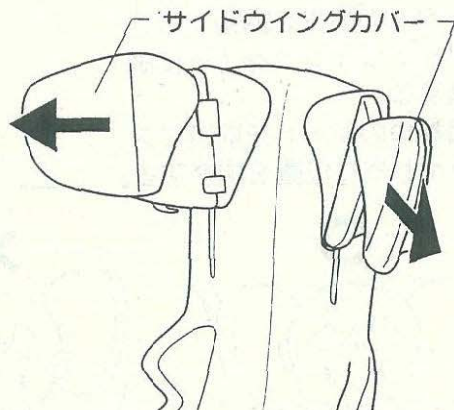


カバー類の取り外し方法

※カバー交換や洗濯の際に取り外します。

本体

1 サイドウイングカバーを取り外す。



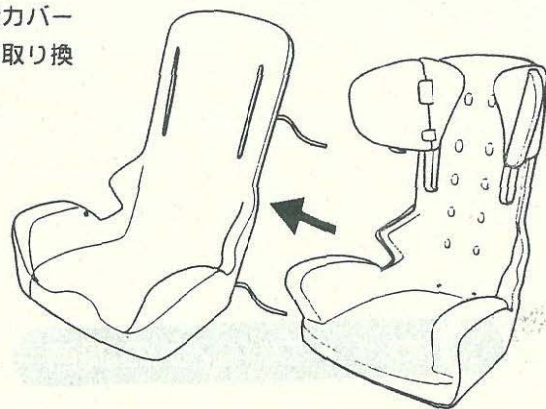
2 本体カバー背面のホックを外し、ひもをほどく。



3 本体カバーを底面側から外し、サイドウイングをくぐらせながら取り外す。

拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料（例えば、専用力カバー類、ベルト類、発泡材料等）を取り外したり、または専用品以外に取り換えて使用しないで下さい。

△注意 シートカバー類は必ず取り付けて使用して下さい。取り付けない状態での使用は、強い日光により、プラスチック部などが高温になり、やけどをする可能性があり大変危険ですので絶対におやめ下さい。



カバー類の取り付け方法

各取り外し方法の逆の手順で行います。

お手入れ方法

- カバー類がよごれた場合は本体より取り外し洗濯することができます。中性洗剤を使用し必ず手で押し洗いをしてください。
- 製品樹脂部が汚れた場合は洗剤類を使用せずに、乾ぶきか水ぶきをしてください。

△注意 中性洗剤やその他薬品類を使用しないでください。

- お手入れ後は、完全に乾燥させてからお使いください。



補修部品について

- チャイルドシートカバーセット
 - ・本体カバー
 - ・サイドウイングカバー（左右）
 （くわしくは、P.16 参照）

（品番：08795-00710）

注意

- このジュニアシートは汎用（ユニバーサル）型年少者用補助乗車装置です。このジュニアシートは年少者用補助乗車装置の型式指定基準に適合しておりますが、一部の自動車に取り付けることができない場合があります。
- このジュニアシートは、~~2点式~~／3点式／巻取装置なし／巻取装置付き座席ベルトを装備している自動車のみで使用できます。
- ご不明な点は当社お客様相談センターまたは販売店にお問い合わせください。（本裏表紙に記載）

アフターサービスについて

保証書

- ・保証書（P.25）は、お買い上げの販売店から製品をお受け取りの際に、必ず「お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめ下さい。
- ・保証書の内容をよくお読み下さい。
- ・保証書を取扱書から切り離さず、大切に保管して下さい。

修理を依頼されるときは

●保証期間中は

- ・保証書の規定に従って当社が修理させていただきます。

●保証期間経過後は

- ・修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◆次の事項をご連絡下さい

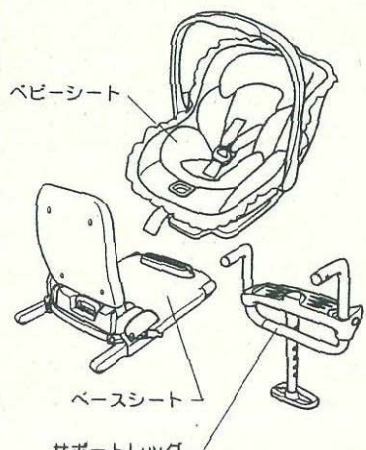
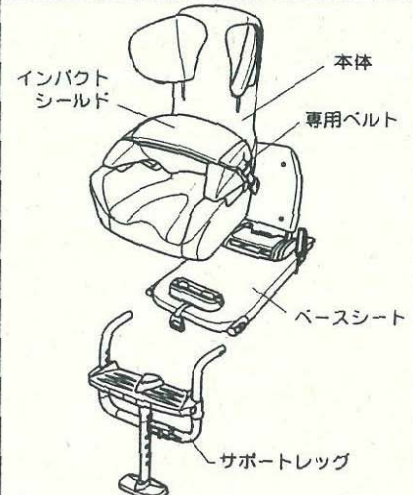
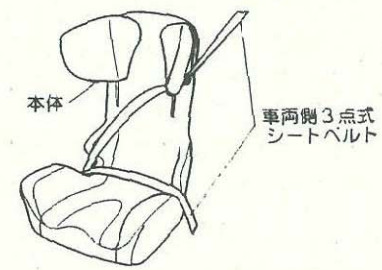
- ①故障の状況 ②製品名 ③製造ロットNo.（背面のラベルに記載あります） ④お買い上げの年月日
⑤お客様のお名前、ご住所、電話番号

ご不明な点や修理に関するご相談は

※お買い上げの販売店、または本裏表紙に記載の当社お客様相談センターにお問い合わせ下さい。

ご案内

トヨタ純正《チャイルドシートシリーズ》では、年令、体格に応じ、次の商品を取りそろえております。お子さまのより安全で、快適なカーライフにぜひご利用ください。

	ベビーシート（別売）	チャイルドシート	（ジュニアシート）
体重	9kg未満	9～18kg未満	15～25kg未満
身長	75cm以下	75～105cm以下	100～115cm以下
参考年令	新生児～9ヶ月頃まで	9ヶ月～4歳頃まで	4～6歳頃まで
使用方法	 サポートレッグ付きのベースシートと共に本体を自動車に取り付け、ベビーシートの肩ベルトで拘束して使用。	 サポートレッグ付きのベースシートと共に本体を自動車に取り付け、インパクトシールドと専用ベルトで拘束して使用。	 ※チャイルドシートアダプター、インパクトシールド不要 本体を車両のシートに置き、自動車側3点式シートベルトを装着して使用。

1. 構造・形状・材質等 2. 用途・機能 3. 製造方法 4. 検査方法 5. 評価結果	1. 構造・形状・材質等 2. 用途・機能 3. 製造方法 4. 検査方法 5. 評価結果	1. 構造・形状・材質等 2. 用途・機能 3. 製造方法 4. 検査方法 5. 評価結果	1. 構造・形状・材質等 2. 用途・機能 3. 製造方法 4. 検査方法 5. 評価結果
--	--	--	--

この表は、製品の構造・形状・材質等、用途・機能、製造方法、検査方法、評価結果について、詳細な情報を提供するためのものです。

製品仕様書

本製品は、主に以下の用途に使用されます。

1. 製品の構造・形状・材質等

2. 用途・機能

3. 製造方法

4. 検査方法

5. 評価結果

本製品は、主に以下の用途に使用されます。

1. 製品の構造・形状・材質等

2. 用途・機能

3. 製造方法

4. 検査方法

5. 評価結果

本製品は、主に以下の用途に使用されます。

1. 製品の構造・形状・材質等

2. 用途・機能

3. 製造方法

4. 検査方法

5. 評価結果